

令和6年5月26日執行

静岡県知事選挙公報

静岡県選挙管理委員会



個人の尊厳党(公認)

よこしま まさひと
横山正文

昭和42年9月10日生(56歳)

第21回静岡県知事選挙立候補宣言の趣旨

1 いわゆるリニア問題に関する わたくしの主張

水問題は既に解決している。すなわち、静岡県は、JR東海に対し、2023年11月29日、田代ダム取水抑制案について、その案の実施を了解する、との意見を取りまとめ、同社に送付した。それに対し、JR東海は、2023年12月21日、同案について、東京電力RPと実施に関する基本合意書を締結した、と発表した。となると、残るは、生物多様性への影響の問題とリニア工事残土処理場の問題である。

これに対し、2024年2月15日、JR東海の丹羽社長は、静岡県が提示した課題47項目について、「議論すべき論点は残されていない」との認識を示した。つまり、JR東海は、予見可能な不測の事態が発生した場合に、それらは全て保障、賠償の範囲に含まれる、と表明したのである。

したがって、わたくしは、県知事に就任次第、即座に、先進抗貫通工事を許可し、河川法に関する許可を出す準備に取り掛かります。

2 「静岡県シリコンバレー計画」浜松市および静岡市ボールパークビレッジ計画について

前者は、静岡県を日本のシリコンバレーにする！という計画であり、後者は、大規模商業施設・ホテルの誘致を伴うものである。

わたくしは、この三大計画により、静岡県の経済を一気に引き上げる！

以上

プロフィール
掛川西高等学校卒 青山学院大学法学部卒
会社員、投資家などを経て、2022年12月
から「個人の尊厳党」代表



オール静岡で
鈴木やすとも
やりまます!

鈴木やすとも マニフェスト「やりまます！」

リニア 大井川の水資源確保と市アルプスの自然環境の保全の両立を図りながら推進します。	産業 伊豆、東海、中部、西海、それぞれの強みを活かした産業を育みます!	子育て支援・教育 将来の宝を全力で支えています!
健康 いつまでも健康で心豊かに暮らせる社会をつくれます!	防災 これまでの防災・風水害を教訓に、命を守る備えを強化します!	環境 未来世代のツツクを築きながら責任を果たします!
観光・移住 静岡の魅力を中心に、人々を呼び込みます!	多文化共生 違いを認め合い、高め合える社会を構築します!	行財政改革 経費の削減を注ぎ込み、持続可能な財政をつくれます!

だからこそ、右に掲げるマニフェストを確実に「やりまます!」、即戦力として、すぐに「やりまます!」

私は4期16年間の浜松市長在任中、以下のような取組みを進めてきました。

- 徹底した行財政改革で市の借金を5,632億円→4,317億円に圧縮!
- 子ども第一主義を掲げ、子ども医療費補助金は県内自治体でいち早く導入!
- 全国に先駆けて、小学3年生までの30人学級を実現!
- FSC森林認証の市町村別取得面積は日本第1位! 天竜を宝の山に!
- 再生可能エネルギー設備導入量、発電量ともに日本1位。再エネ日本一のまちを実現。
- 国の特区制度を積極的に活用し、企業誘致は全国トップレベルの343社!
- スタートアップ支援により、ベンチャーキャピタルからの投資額は地方都市として破格の154億円!

静岡県立浜松北高等学校 卒業
慶応義塾大学法学部 卒業
・(財)松下政経塾(1期生)
・常務取締役(2期)
・浜松市長(4期16年)

政策の詳細や日々の活動状況は、こちらをお読み下さい。

「オール静岡」で幸福度日本一の静岡県をめざします!

静岡県前入進 1,000億円以上 即実行!!

既存事業の効率化と見直しで新規投資の予算を捻出します!

防災 × インフラ × 産業政策 × 県民の幸せ = 前進!!

静岡県の魅力溢れる多様な地域資源を活かした大きな戦略のもと、県の各事業と国の政策、市町の政策との連携により相乗効果を生み出し、県政を大きく前進させます。

製造業を「再興」働く人を「再育」に「再秀」に世界「最高」のものづくりのまちへ
静岡県の誇りもつくりを国の政策も総動員してV字回復。
雇用・福祉政策を推進し働く人の幸せを高め、海外販路拡大、製造業の国内回帰、スタートアップ支援を推進させて世界最高のものづくりのまちへ!

21世紀に花開く産業 世界から人が集い「新しい」を生み出す
医療・医療機器、化学、バイオテクノロジー、観光、観光産業、コンダツク産業...
共通するのは「21世紀に花開く産業」。
東京圏からの移住者、海外からの観光客も多量に伊豆(伊豆)を未来産業の集積地に!

遠州ものづくり さあ行こう。プラン

富士伊豆 未来産業

スーパージョー 構想

防災 特区

国の特区指定と攻めの防災でのちと暮らしを守り抜く
能登半島地震により明らかになった「半島」という地形の脆弱性を一日も早く克服するために、国の特区制度を活用し伊豆半島全体を「半島防災」のモデル地域に。
伊豆半島道の整備を加速させ、政策を総動員してのちと暮らしを守り抜きます!

プロフィール

- 1963年 静岡県生まれ 静岡県育ち
- 幼少期を旧舞阪町(現浜松市中央区)で過ごす
- 1987年 東京大学経済学部卒業後、自治省(現・総務省)に入省
- 2009年 総務省から静岡県の総務部長として出向
- 2010年 この年から2年間、静岡県副知事を務める
- 以後、消防庁国民保護・防災部長、総務省公務員部長、新型コロナウイルス対策地方連携総括官、内閣官房副長、孤立対策担当室長、総務省地域力創造審議官などを歴任

リニア推進

早期解決5.約束

- 1 流域の声を反映させる
- 2 大井川の水と環境を守る
- 3 静岡県のメリットを引き出す
- 4 国の関与を明確にする
- 5 1年以内に結果を出す

浜松野球場再検証

2万2千人のドーム

ありきの議論は STOP

ゼロベースで再検証

現3案の経緯とプロセス
③事業の妥当性 ④費用対効果
丁寧に市民・県民の声を聞く

浜松市長・静岡県民にとって最適な野球場を最速で整備

無所属/60歳 大村しんいち

総務省出身/元副知事

プロフィール

- 1963年 静岡県生まれ 静岡県育ち
- 幼少期を旧舞阪町(現浜松市中央区)で過ごす
- 1987年 東京大学経済学部卒業後、自治省(現・総務省)に入省
- 2009年 総務省から静岡県の総務部長として出向
- 2010年 この年から2年間、静岡県副知事を務める
- 以後、消防庁国民保護・防災部長、総務省公務員部長、新型コロナウイルス対策地方連携総括官、内閣官房副長、孤立対策担当室長、総務省地域力創造審議官などを歴任

(この公報は、6名の候補者のうち、選挙公報掲載申請のあった5名について、提出された原稿をそのまま製版の上掲載したものです。なお、掲載順はくじにより決定しています。) (うらをごらんください。)

